環境情報センター指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

＜選考委員会の議事概要＞

１　日時

令和８年１０月５日(月)　午前１０時００分～正午

２　会場

相模原市立環境情報センター　学習室

３　出席者

（１）環境情報センター指定管理者選考委員会委員　４名

（２）事務局（環境経済局環境部ゼロカーボン推進課）　４名

４　選考委員会の委員の構成

（１）大学指導員（委員長）　１名

（２）大学教授　１名

（３）公認会計士　１名

（４）市職員　１名

５　公開の可否

相模原市立環境情報センター指定管理者選考委員会設置要綱第８条により非公開とした。

６　議題

（１）選考について

（２）提案説明

（３）選考（採点・意見交換）

７　議事概要

（１）選考について事務局より説明を行った。

（２）提案説明

申請団体からの提案説明を受け、それに対して選考委員会委員が質疑応答を行った。

・株式会社ギオン

（主な質疑応答）

委　　員：現在の施設の強みや弱みについてどのように考えているか。

申請団体：強みは事業の実施回数が多いことが特徴であり、情報発信ができていることが強みと考えている。弊社は広報力に長けていると認識しており、多彩な事業を継承しつつ、広報力をプラスすることで、さらに広げていけると考えている。

委　　員：利用向上のアイディアについて伺いたい。

申請団体：情報を発信するためには人を集めなければならないが、環境にまつわる人のみを招くには限界がある。スポーツ人口が非常に多いことからスポーツに関連付け環境に取り込む。

委　　員：計画事業に記載している事業について、５年に１回の実施となっているものがあるが、内容によっては定例化を考えても良いと思うが、どのように考えるか。

申請団体：アンケートを実施し、結果を踏まえ、実施回数について考える予定である。

委　　員：初年度は基盤を整えるとのことだったが、初年度以降に事業の実施回数が増え、報償費が増額していくと思われるが、５年間同額となっていることについて、説明いただきたい。

申請団体：基本的には内省化していき、最終的には我々で実施していきたいと考えており、報償費は変動しないと想定している。

（３）選考

ア　各選考委員会委員が評価基準に基づき採点を行った。

イ　事務局から採点の集計結果を伝え、選考委員会委員で意見交換を行った。

（主な意見）

・スポーツ事業を得意としており、環境についてどれだけ知っているか気になるが、評価点は十分であり、任せたい。

・実際にできそうなことを記載しており、外部に任せきりにせず、自分でやりたいという点が評価できる。

・環境学習の成果について、次世代につなげるという考えが良いと思っており、期待したい。

・環境とは違う視点からのアプローチは新たな風になると思う。他施設でも事業を行っており、他施設や学校との連携による相乗効果を期待している。

※　選考委員会は申請団体名をブラインド化しており、当日はＡ社としていたが議事概要では申請団体の名称を使用している。

＜選考の概要＞

１　選考結果

株式会社ギオンを指定管理者候補団体とすることとした。

２　選考理由

（１）評価基準に基づく各選考委員会委員の採点の結果、最低基準点を超え、かつ高い得点を得たこと。

（２）各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。

（３）候補団体の経営状況が良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

３　評価基準・評価結果

指定管理者候補団体（株式会社ギオン）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりです。

評価項目		配点	得点
事業計画			
内訳	指定管理者の適性	２０	１７
	管理運営方針	４０	３２
	地域活性化	２０	１８
	計画事業（自主事業を除く。以下同じ。） （環境学習の推進）	２０	１６
	計画事業（環境活動の支援）	２０	１５
	計画事業（環境情報の提供）	２０	１６
	自主事業	４０	３０
	利用者ニーズ	２０	１６
	維持管理計画	２０	１６
	人員配置	４０	３０
	安全管理及び緊急時の対応	２０	１５
	適正な管理・経理	４０	３２
	小計	３２０	２５３
収支計画・経費的効果			
内訳	収支計画の妥当性	２０	１５
	指定管理料	２０	２０
	利益の還元	２０	１６
	小計	６０	５１
管理能力			
内訳	団体の経営状況	２０	１６
	団体の管理能力	４０	３０
	労働環境の適正性	２０	１６
	小計	８０	６２
合計		４６０	３６６

※　合計得点における最低基準点は２７６点としました。